

KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

AP-300-B/AP-300-H/ AP-300-S

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全に
お使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

- 目次は5 ページにあります。




MP3/WMA



株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation


ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供
サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のため
のアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://jp.my-kenwood.com>

こんなことができます

iPodやiPhoneを
本機から操作して再生

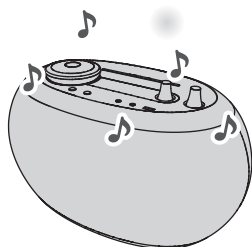


16ページ

BLUETOOTH機器を
本機から操作して再生

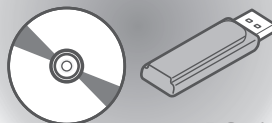


23ページ



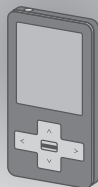
サウンドモードや重低音を調節して
音楽を楽しもう!(31ページ)

音楽CDやUSB機器の
MP3/WMAファイルを再生



18ページ

USB接続できない機器は
外部入力から再生



28ページ

AM/FMラジオを受信可能



26ページ

はじめに

オートパワーセーブ(節電機能)について

- ・本機には、消音状態などが15分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(15 ページ)

本書の見かた

- ・本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- ・この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書の表記について

- ・本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- ・本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- ・本書では MP3/WMA の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」「曲」、「フォルダ」と「グループ」は同じ意味で使っています。

本機のボタンの押し方について

本機のボタンの押し方には、ボタンを短めに押す「単押し」と、長めに押す「長押し」があります。

単押し:(長押し)の記載なし

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。



長押し:(長押し)の記載あり



ボタンを長めに押し続けてから、指を離してください。

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

この製品の機種銘板やその他の情報は、本体の底面にあります。

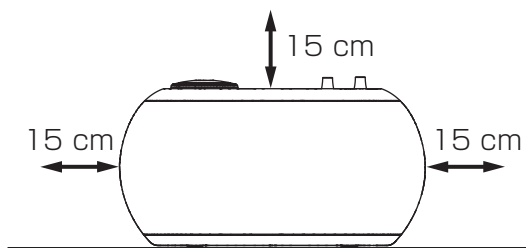
本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

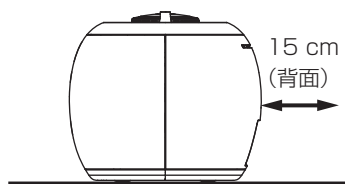
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

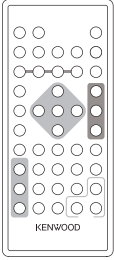
こんなことができます	2	BLUETOOTH 機器を聞く	23
はじめに	3	BLUETOOTH 機器を接続する	23
本機を設置するときは	4	再生する	24
準備	6	接続を解除する	24
付属品を確認する	6	電波について	25
リモコンを準備する	6	ラジオを聞く	26
各部の名称	7	放送局を受信する	26
リモコン	7	放送局を記憶させる(プリセット)	27
本体上面	8	外部機器を聞く	28
本体背面	9	外部機器を接続する	28
表示部	10	外部機器を聞く	28
接続	11	タイマーを使う	29
アンテナを接続する	11	スリープタイマーを設定する	29
AC アダプターを接続する	12	デイリータイマーを設定する	29
ヘッドホンを接続する	13	その他の機能	31
基本操作	14	音質を調節する	31
電源を入れる/切る	14	表示部/イルミネーションを調節する	32
時計を合わせる	14	表示される情報を変える	33
ふだんの使いかた	14	その他	34
オートパワーセーブ(節電機能)を使う	15	再生できる iPod	34
iPod を聞く	16	使用できる BLUETOOTH 機器	34
iPod を接続する	16	再生できる CD とファイル	34
再生する	16	USB 機器のご注意	35
USB 機器/CD を聞く	18	CD-R/CD-RW のご注意	35
USB 機器または CD を準備する	18	MP3/WMA ファイルのご注意	35
再生する	19	お手入れについて	36
プログラム再生をする	20	商標	36
ランダム再生をする	21	困ったときは	37
リピート再生をする	22	本機をリセットする	39
		主な仕様	40
		保証とアフターサービス	42
		無料修理規定	43

準備

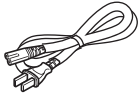
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

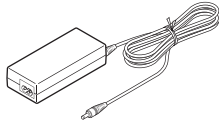
リモコン
RC-F0328 (1個)



AC電源コード (1本)



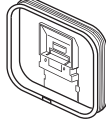
ACアダプター
AA-R1809 (1個)



FM簡易型アンテナ
(1本)



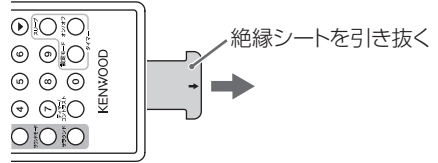
AMループアンテナ
(1個)



リモコンを準備する

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

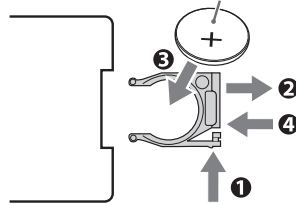
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。



電池を交換する

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

リチウム電池(CR2025)



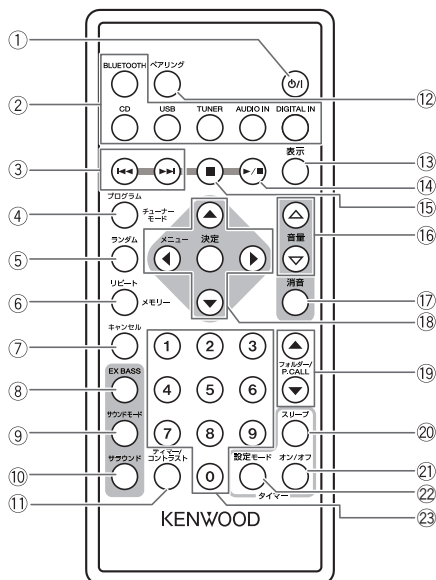
ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

各部の名称

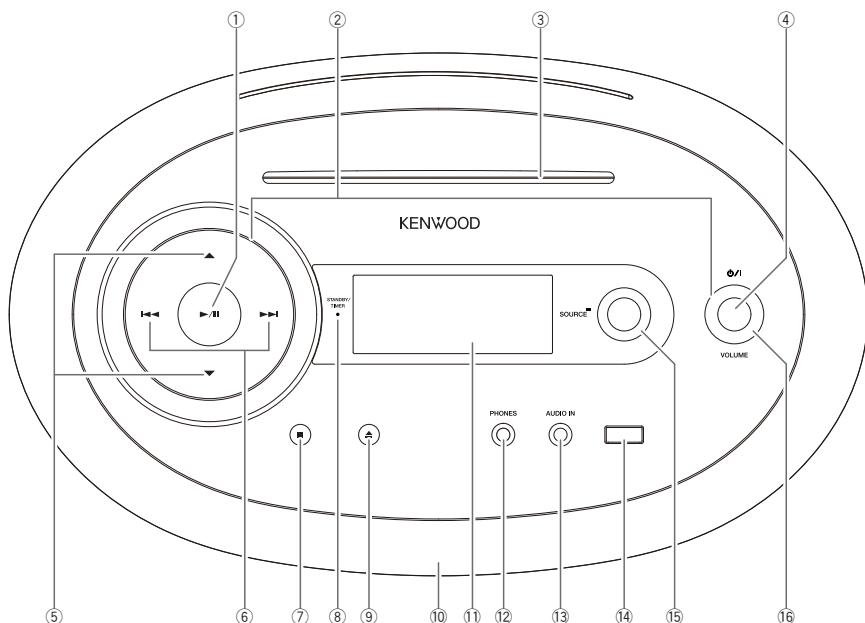
リモコン

・参照ページは主な紹介ページを記載しています。



- | | |
|---|--|
| ① 電源
(14 ページ) | ⑫ ペアリング
(23 ページ) |
| ② BLUETOOTH, CD, USB, TUNER, AUDIO IN, DIGITAL IN
(16, 19, 23, 26, 28 ページ) | ⑬ 表示
(33 ページ) |
| ③ ◀▶▶▶ | ⑭ ▶/
(16, 19, 24 ページ) |
| ④ プログラム/チューナーモード
(20, 26 ページ) | ⑮ ■
(19 ページ) |
| ⑤ ランダム
(17, 21 ページ) | ⑯ 音量 ▲/▼
(14 ページ) |
| ⑥ リピート/メモリー
(17, 22, 27 ページ) | ⑰ 消音
(15 ページ) |
| ⑦ キャンセル
(27 ページ) | ⑱ ▲/▼/◀/▶/決定
(14, 27, 28, 29, 32 ページ) |
| ⑧ EX BASS
(31 ページ) | ⑲ フォルダー/P.CALL ▲/▼
(19, 27 ページ) |
| ⑨ サウンドモード
(31 ページ) | ⑳ スリープ
(29 ページ) |
| ⑩ サラウンド
(31 ページ) | ㉑ オン/オフ
(30 ページ) |
| ⑪ ディマー/コントラスト
(32 ページ) | ㉒ 設定モード
(14, 29 ページ) |
| | ㉓ 数字ボタン
(19, 27 ページ) |

本体上面



① (PAIRING)▶/||◀ ボタン

(16、19、23 ページ)

② イルミネーション

電源が入っているとき、白色に点灯します。

③ CD スロット

(18 ページ)

④ 電源ボタン

(14 ページ)

⑤ ▲/▼ ボタン

(19、27、39 ページ)

⑥ ◀/▶ ボタン

(16、19、24、26 ページ)

⑦ ■ ボタン

(19 ページ)

⑧ スタンバイインジケータ

電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。タイマーを設定しているときは、橙色に点灯します。

⑨ ▲ (CD 取り出し) ボタン

(18 ページ)

⑩ リモコン受光部

⑪ 表示部

⑫ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

(13 ページ)

⑬ AUDIO IN 端子

再生する外部機器を接続します。

(28 ページ)

⑭ USB 端子

再生する iPod/iPhone または USB 機器を接続します。

(16、18 ページ)

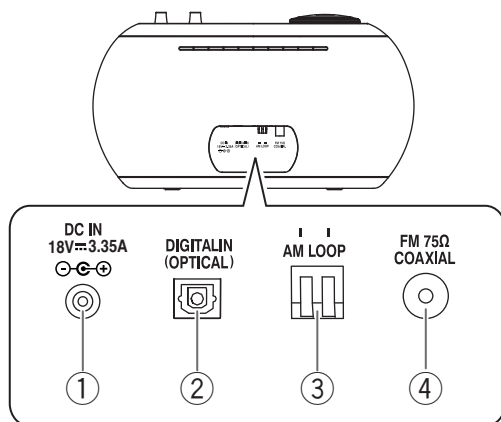
⑮ SOURCE

(16、19、23、26、28 ページ)

⑯ VOLUME

(14 ページ)

本体背面



① DC IN 端子

(12 ページ)

② DIGITAL IN (OPTICAL) 端子

(28 ページ)

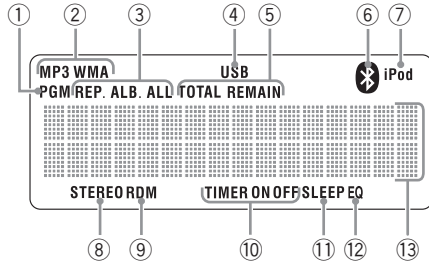
③ AM LOOP アンテナ端子

(12 ページ)

④ FM 75 Ω COAXIAL アンテナ端子

(11 ページ)

表示部



① PGM(プログラム)アイコン

(20 ページ)

プログラム再生中に点灯します。(「CD」、「USB」)

② ファイルアイコン

オーディオファイルを再生しているときに点灯します。

③ リpeatモードアイコン

(22 ページ)

REP. : 1 曲リピートのときに点灯します。(「CD」、「USB」)

REP. ALB* : リPEATの範囲が現在のフォルダ内のときに点灯します。(「CD」、「USB」)

REP. ALL : 全曲リPEATのときに点灯します。(「CD」、「USB」)

* MP3/WMA のみ

④ USB アイコン

(18 ページ)

USB 機器を接続しているときに点灯します。

⑤ 表示切り換えアイコン

TOTAL : ディスク再生中、ディスク全体の再生時間を表示しているときに点灯します。

REMAIN : ディスク再生中、1 曲の再生残り時間を表示しているときに点灯します。

⑥ BLUETOOTH アイコン

(23 ページ)

BLUETOOTH 機器を接続しているときに点灯します。

⑦ iPod アイコン

(16 ページ)

iPod を接続しているときに点灯します。

⑧ STEREO アイコン

(26 ページ)

ステレオ放送受信中に点灯します。

⑨ RDM アイコン

(21 ページ)

ランダム再生中に点灯します。(「CD」、「USB」)

⑩ タイマーアイコン

(29, 30 ページ)

TIMER : デイリータイマーが設定されているときに点灯します。デイリータイマー動作中は点滅します。

TIMER ON : デイリータイマーの開始時間を設定中に点滅します。

TIMER OFF : デイリータイマーの終了時間を設定中に点滅します。

⑪ SLEEP アイコン

(29 ページ)

スリープタイマー設定中に点灯します。

⑫ EQ アイコン

(31 ページ)

サウンドモードまたは EX.BASS を設定すると点灯します。

⑬ メインディスプレイ

各音源の情報を表示します。

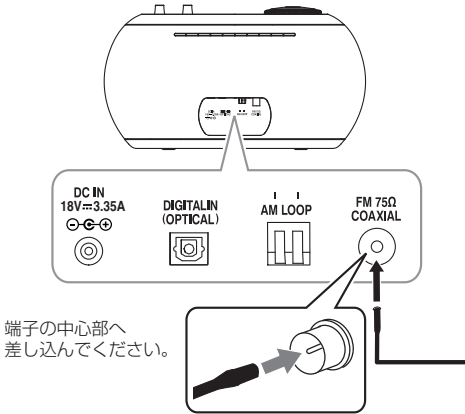
接続

すべての接続が終わってから、電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

アンテナを接続する

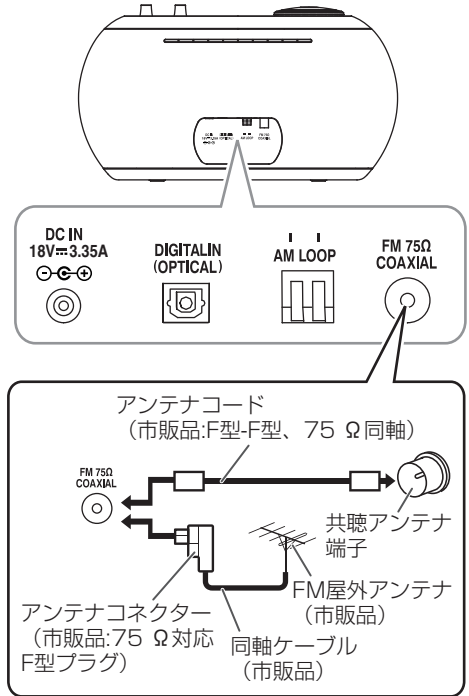
ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

FM 簡易型アンテナ(付属品)



束ねられている結びをほどいてから、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき



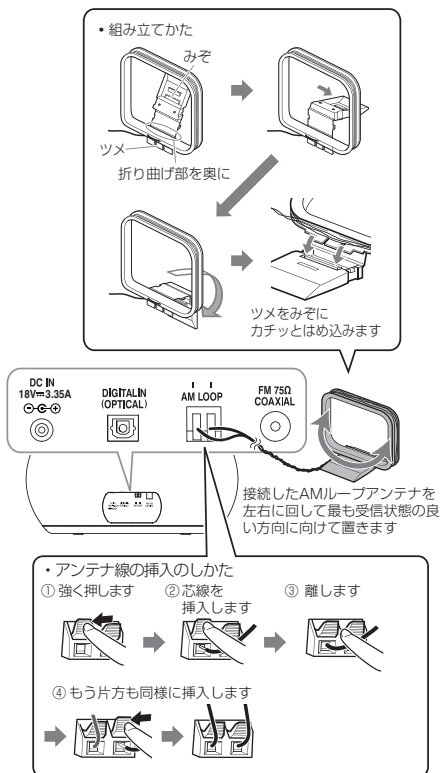
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクタの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

ご注意

- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

AM ループアンテナ(付属品)

- AM ループアンテナは電波を受信しやすくするため、なるべく窓際に置いてください。

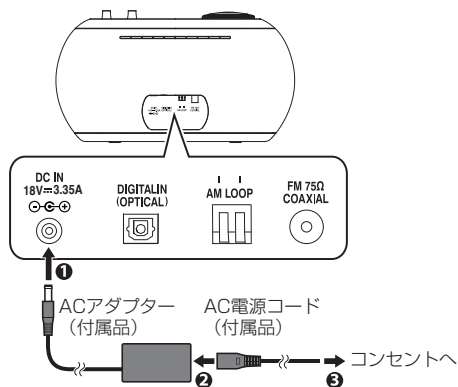


ご注意

- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に接続してください。付属の AC 電源コードを AC アダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。



- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

ご注意

- 火災や感電を防ぐために
 - 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
 - 付属の AC アダプターを本機以外の製品には使用しないでください。
 - 付属の AC 電源コード以外は使用しないでください。
 - 付属の AC 電源コードを本機以外の製品には使用しないでください。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- ソース(音源)の切り換え
- 音量の設定
- 音質の設定
- タイマーの設定内容
- チューナー設定

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の標準 3 極タイプ・ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン



本体



- リモコンの [CD] などの各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

時計を合わせる

タイマーなどを利用するために本機の時計を設定します。

1 「TIMER SET」表示にする

設定モード



2 「CLOCK」が選ばれていることを確認し、決定する



- すでに時計を設定している場合は、[設定モード]を押したあと、[◀/▶]をくり返し押し、「CLOCK」を選び、[決定]を押してください。

3 「時」を合わせる



4 手順3を繰り返して、「分」を合わせる

「分」を合わせると、「COMPLETE」と表示され、設定が完了します。

お知らせ

- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

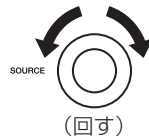
ふだんの使いかた

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン



本体



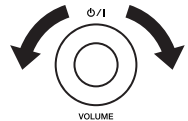
2 音量を調節する

リモコン



(くり返し押し)

本体



(回す)

VOL 07

- 調節範囲: MIN(0)～MAX(40)

一時的に消音する



もう1度押すか、音量の[Δ]を押すと元の音量に戻ります。

オートパワーセーブ(節電機能)を使う

無操作が約15分続くと、自動で電源がオフになる機能です。

1 「TIMER SET」表示にする



2 「A.P.S.」を選ぶ



3 設定する



設定すると「COMPLETE」と表示され、設定を終了します。

A.P.S ON:

以下のような状態で約15分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が「MIN」のとき、または消音しているとき
- ソース(音源)が「USB」または「BLUETOOTH」で、機器を接続していないとき
- ソース(音源)が「USB」または「CD」で、停止状態のとき
- ソース(音源)が「AUDIO IN」または「DIGITAL IN」で、音声が入力されていないとき

A.P.S OFF:

オートパワーセーブ機能がオフになります。

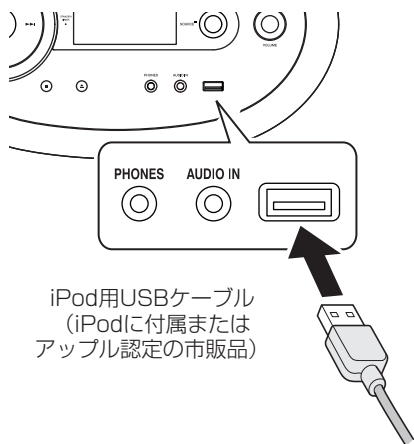
- 本機の電源が切れる約1分前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から15分間カウントし直します。
- お買い上げ時の設定は「A.P.S. ON」です。

iPod を聞く

- 再生できる iPod については、34 ページをご覧ください。

iPod を接続する

iPod を USB ケーブル(iPod に付属または市販品)を使用して本機の USB 端子に接続し、本機から操作できます。



- 接続すると、「iPod」アイコンが点灯します。

お知らせ

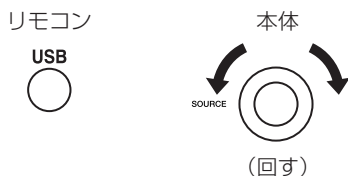
- iPod を接続すると、iPod に充電できます。

ご注意

- iPod は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から iPod に録音することはできません。

再生する

1 ソース(音源)を「USB」にする



2 再生する



iPod の電源が入り、再生が始まります。

一時停止する



もう1度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ



- 次の曲に移動するには、[▶▶]を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀]を押します。続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に



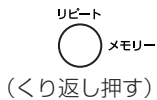
- 早戻しするには、[⏮]を押し続けます。
- 早送りするには、[⏭]を押し続けます。

シャッフル再生をする



押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする



押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。

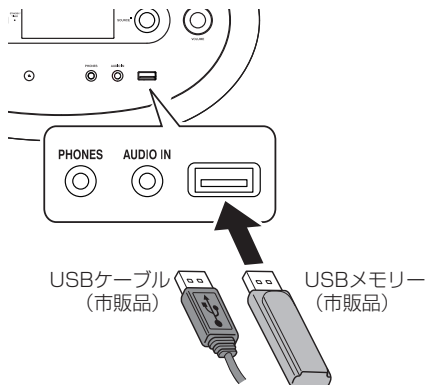
お知らせ

- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
 - ホームボタンを押す
 - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
 - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

USB 機器/CD を聞く

USB 機器または CD を準備する

USB 機器を接続する



- 接続すると、「USB」アイコンが点灯します。

お知らせ

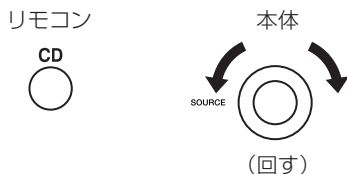
- USB 機器を接続すると、本機から USB 機器に電源供給および充電されます。

ご注意

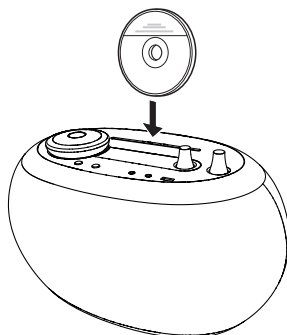
- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から USB 機器に録音することはできません。
- ソニー製ウォークマンなど、USB 接続に対応していない(独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理している)オーディオプレーヤーは、本機の AUDIO IN 端子に接続して再生してください。(28 ページ)

CD を入れる

1 ソース(音源)を「CD」にする



2 CD を入れる



本機前面に対して、CD のレーベル面を手前にして挿入します。

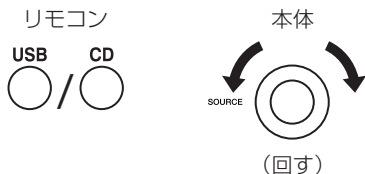
- CD を途中まで入れると、あとは自動的に挿入されます。
- CD 認識中は「READING」と表示されます。表示が消えるまでお待ちください。

CD を取り出すには



再生する

1 ソース(音源)を「USB」または「CD」にする



- USB 機器認識中は「READING」と表示されます。表示が消えるまでお待ちください。

2 再生する



停止する



- CD、MP3/WMA ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します(リジューム機能)。停止中にもう1度 [■] を押し、リジューム機能は解除されます。
- 他のソース(音源)が選択されると、リジューム機能は解除されます。

一時停止する



- もう1度押し、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ



- 次の曲に移動するには、[▶▶]を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀]を押します。続けて2回押しと、前の曲に移動します。

曲番号を指定して曲を選ぶ



例:

- 3 番目を選ぶとき: ③
- 17 番目を選ぶとき: ① ⑦
- 123 番目を選ぶとき: ① ② ③

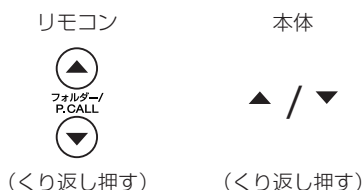
早戻し/早送りする

再生中に



- 早戻しするには、[◀◀]を押し続けます。
- 早送りするには、[▶▶]を押し続けます。
- 早戻し、または早送りして、曲の途中から再生するときは、リモコンまたは本体の[▶|||]を押します。

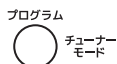
グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)



プログラム再生をする

USB 機器または CD の曲を、30 曲までお好みの順で再生します。

- 1 USB 機器または CD の再生を停止する
- 2 プログラム設定表示にする



- 「PGM」アイコンが点滅します。
- もう一度押すとプログラム内容を消去して、プログラム再生を解除します(通常再生モードに戻ります)。

- 3 登録したい曲を選ぶ



(くり返し押す)

曲番号を指定して曲を選ぶ



決定



- 曲を選ぶ操作については、19 ページの「曲を選ぶ」をご覧ください。

- 4 手順 3 をくり返して、他の曲を登録する
- 5 再生する

リモコン



本体



プログラムした順序で曲が再生されます。

プログラムに曲を追加する

追加したい曲を選ぶ
停止中に



(くり返し押す)

曲番号を指定して曲を選ぶ



決定



お知らせ

- 30 曲目を登録すると「PGM FULL」と表示され、それ以上は登録できません。

登録した曲を削除する

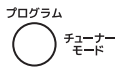
停止中に



押すたびにプログラムの最後の曲が取り消されます。

プログラム再生を解除する

停止中に



プログラム内容が消去されます。

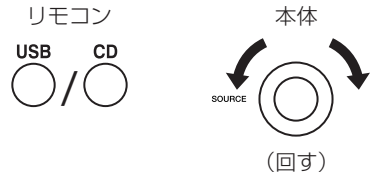
- 「PGM」アイコンが消灯します。
- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - USB 機器を取りはずす
 - CD を取り出す

お知らせ

- プログラムをリピート再生することもできます。

ランダム再生をする

1 ソース(音源)を「USB」または「CD」にする



2 USB 機器または CD を再生する



3 ランダム再生する



ランダムな順序で曲が再生されます。

- 再生中は「RDM」アイコンが点灯します。
- グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。
- ランダム再生中に[◀◀]を押しても、前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生を解除する

ランダム再生中に



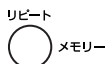
「RDM」アイコンが消灯します。

- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - USB 機器を取りはずす
 - CD を取り出す
 - 停止する

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に



(くり返し押し)

押すたびに以下のように切り換わります。

- REP. : 現在の曲をくり返します。
REP.ALB* : 現在のグループの曲をくり返します。
REP. ALL : USB 機器または CD のすべての曲をくり返します。

* MP3/WMA のみ

2 (停止中のときは)再生する

リモコン

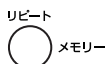


本体



リピート再生を解除する

「REP」アイコンを消灯させる



(くり返し押し)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - USB 機器を取りはずす
 - CD を取り出す
 - 再生を停止する

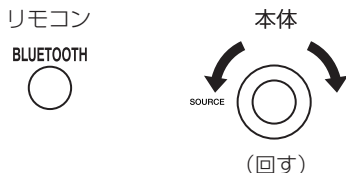
BLUETOOTH 機器を聞く


お手持ちのポータブルプレーヤー等の BLUETOOTH 機器の音を本機で聞くことができます。


初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。

BLUETOOTH 機器を接続する


1 ソース(音源)を「BLUETOOTH」にする



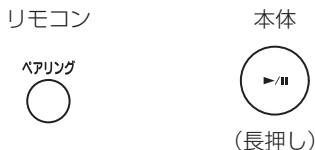
「CONNECTING」表示が点滅し、「」アイコン (BLUETOOTH アイコン) が遅く点滅します。自動的に最後に接続した BLUETOOTH 機器に接続します。

「CONNECTED」と表示され、「」アイコン (BLUETOOTH アイコン) が点灯します。

CONNECTED

- 初めて BLUETOOTH 機器と接続する場合や、新しい BLUETOOTH 機器と接続する場合にはペアリング操作が必要です。
- 「」アイコン (BLUETOOTH アイコン) が点灯している場合は、リモコンの[BLUETOOTH] または本体の[(PAIRING) ▶/||]を長押しして、いったん接続を解除します。「DISCONNECTED」と表示され、その後表示が消えます。

2 本機をペアリング待機状態にする



「」アイコン (BLUETOOTH アイコン) が早く点滅します。

「CONNECTING」と表示されているときは、本体の[▶/||]での設定はできません。リモコンの「ペアリング」で設定してください。

3 BLUETOOTH 機器で BLUETOOTH 機能をオンにする

- iPod touch/iPhone および Android 端末では「設定」から「Bluetooth」を選んでください。
- 詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

4 画面に表示された機器から「AP-300」を選ぶ

ペアリングが完了し、BLUETOOTH 機器と本機が自動的に接続されます。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

5 BLUETOOTH 機器を再生する

BLUETOOTH 機器の再生音が本機のスピーカーから流れます。

お知らせ

- BLUETOOTH 機器は 9 台まで登録できます。10 台目の BLUETOOTH 機器を登録すると、接続履歴が最も古い機器の登録が削除されます。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。

再生する

最後に接続した BLUETOOTH 機器と接続し、再生することができます。

リモコン



本体



一時停止する

リモコン



本体



- もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

- 次の曲に移動するには、[▶▶]を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[◀◀]を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン



(長押し)

本体



(長押し)

- 早戻しするには、[◀◀]を押し続けます。
- 早送りするには、[▶▶]を押し続けます。
- 通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

接続を解除する

リモコン

BLUETOOTH



(長押し)

本体



(長押し)

DISCONNECTED

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- BLUETOOTH 機器で接続を解除したとき、または BLUETOOTH 機能をオフにしたとき
- 本機または BLUETOOTH 機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

ご注意

- 本機に接続できる機器は、BLUETOOTH プロファイルの A2DP と AVRCP に対応している必要があります。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

-分解/改造すること

-証明ラベルが本機に貼ってある場合、それを消すこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

使用可能距離は見通し距離約 10m です。

- 鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

ラジオを聞く

FM と AM の放送局を聞くことができます。

お知らせ

- ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。(11 ページ)
- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。

放送局を受信する

1 「FM」または「AM」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(回す)

押すたびに「AM」と「FM」が切り換わります。

2 放送局を選ぶ

リモコン



本体



長押しすると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

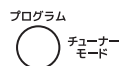
- 選局を途中で停止したいときは、もう1度押します。
- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。
- ステレオ放送を受信すると、「STEREO」アイコンが点灯します。

ご注意

- 選局中は音が出ません。

FM モードを切り換える

FM ステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信にすると聞きやすくなります。



押すたびに設定が切り換わります。

- 「STEREO」アイコン点灯 : ステレオ自動受信
- 「STEREO」アイコン消灯 : モノラル受信

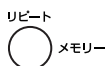
お知らせ

- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

放送局を記憶させる(プリセット)

FMの放送局は最大30局、AMの放送局は最大10局まで記憶させることができます。

- 1 記憶させたい放送局を受信する
- 2 プリセット設定表示にする



- 3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ



• 数字ボタンで番号を指定して選ぶこともできます。

例:

- 3番目を選ぶとき:③
- 17番目を選ぶとき:①⑦
- すでに登録したプリセット番号を指定すると、古い登録内容は削除(上書き)されます。

- 4 記憶させる



記憶した放送局を呼び出す

リモコン
本体



(くり返し押す) (くり返し押す)

• 数字ボタンで番号を指定して選ぶこともできます。



例:

- 3番目を選ぶとき:③
- 17番目を選ぶとき:①⑦

ご注意

- プリセットした放送局でも、電波状況によって受信できない場合があります。

記憶した放送局を削除する

- 1 削除したいプリセット番号を選ぶ
- 2 削除する



「CLEAR?」と表示されている間に[決定]を押します。選択した放送局は削除されます。削除したプリセット番号の放送局以降は前に詰められます。

- 空いたプリセット番号にはFMの場合は76 MHz、AMの場合は531 kHzが自動的に記憶されます。

外部機器を聞く

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

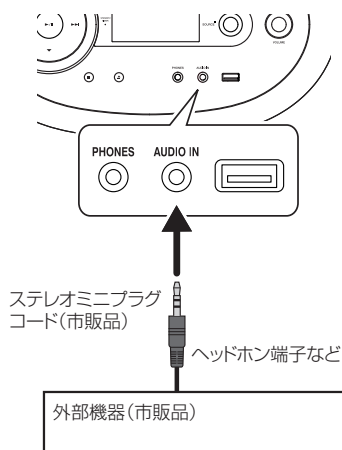
- ・ ソニー製ウォークマンなど、USB 接続に対応していないオーディオプレーヤーは、AUDIO IN 端子に接続して再生してください。

外部機器を接続する

1 本機の音量を最小にする

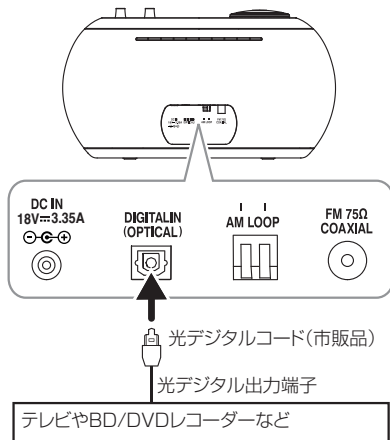
アナログ端子に接続する場合

2 AUDIO IN 端子に外部機器を接続する



デジタル端子に接続する場合

2 DIGITAL IN (OPTICAL) 端子に外部機器を接続する

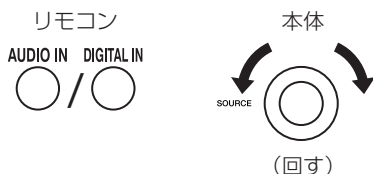


お知らせ

- ・ デジタル入力端子に接続した場合は、テレビや BD レコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

外部機器を聞く

1 「AUDIO IN」または「DIGITAL IN」を選ぶ



AUDIO IN

2 外部機器の再生を始める

- ・ 再生中はデジタルオーディオプレーヤーを取りはずさないでください。故障の原因となります。

3 音量を調節する

音声入力レベルを調節する

AUDIO IN 端子に接続した外部機器の音量が、他のソース(音源)と比べて差があるときは、入力レベルを調節してください。



押すたびに設定が切り換わります。

- LEVEL 1 : 通常の音声入力レベル
- LEVEL 2 : LEVEL 1 よりも高いレベル
- LEVEL 3 : LEVEL 2 よりも高いレベル

タイマーを使う

スリープタイマーと通常の再生タイマー(デイリータイマー)があります。
(本機ではタイマー録音はできません。)

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

10分単位で最長90分まで設定できます。



SLEEP 10

押すたびに電源が切れるまでの時間が切り換わります。

- ・スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- ・スリープタイマーを解除するときは、「SLEEP OFF」を選んでください。

残り時間を確認する

[スリープ]を1回押す

表示例:残り12分

SLEEP 12

残り時間を5秒間表示します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- ・あらかじめ時計を合わせておいてください。(14ページ)
- ・あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- ・あらかじめ聞く放送局をプリセットしてください。

1 タイマー設定表示にする



2 「TIMER」を選び、決定する



3 タイマーの内容を設定し、決定する



以下の各項目を設定してください。

- ・[◀/▶]を押して前後の項目を選ぶことができます。

タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」

- ・設定中は「TIMER ON」アイコン(開始時刻)と「TIMER OFF」アイコン(終了時刻)が点滅します。

再生するソース(音源)

「CD」、「USB」、「FM」、「AM」から選びます。

- ・「AM」または「FM」のときはプリセット番号を選びます。

再生する音量

次ページへつづく

4 再生の方法を選び、決定する



「PLAY」: 設定した音量で再生します。

「AI PLAY」: 再生開始後、徐々に設定した音量まで上がります。

設定すると「COMPLETE」と表示され、設定を終了します。

5 電源を切る

リモコン



本体



スタンバイインジケーターが橙色に点灯します。

- デイリータイマーの開始時刻約 30 秒前になると自動的に電源が入り、再生が始まります。
- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーが設定されているときは、「TIMER」アイコンが点灯します。
- デイリータイマーの作動中は、「TIMER」アイコンが点滅します。
- デイリータイマーは、1 度設定すれば毎日同じ内容で作動します。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

デイリータイマーを解除する

電源が入っているときに



「TIMER」アイコンが消灯します。

1 度解除したデイリータイマーを、内容を変えずに再設定する

電源が入っているときに



「TIMER」アイコンが点灯します。

その他の機能

音質を調節する

サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。



(くり返し押す)

表示例:



押すたびに設定が切り換わります。



サウンドモードが「FLAT」以外に設定されているとき、「EQ」アイコンが点灯します。

サラウンドを設定する



(くり返し押す)

押すたびにオンとオフが切り換わります。

SURROUND OFF ←→ **SURROUND ON**

• お買い上げ時の設定は「SURROUND OFF」です。

重低音を強める



(くり返し押す)

押すたびにオンとオフが切り換わります。

EX.BASS OFF ←→ **EX.BASS ON**

EX.BASSを設定すると、「EQ」アイコンが点灯します。

• お買い上げ時の設定は「EX.BASS OFF」です。

お知らせ

- サウンドモード、サラウンドおよび重低音 (EX.BASS) は、ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- サウンドモードを設定すると、重低音 (EX.BASS) は解除されます。
- 重低音 (EX.BASS) を設定すると、サウンドモードは解除されます。

表示部/イルミネーションを調節する

お好みやお部屋の状態によって調節してください。

表示部/イルミネーションの明るさを設定する



(くり返し押す)

押すたびに、表示部とイルミネーションの明るさが切り換わります。

- DIMMER OFF** : 表示部: 明るい
イルミネーション: 明るい
- DIMMER 1** : 表示部: やや暗い
イルミネーション: やや暗い
- DIMMER 2** : 表示部: 暗い
イルミネーション: 消灯

- 表示部とイルミネーションの明るさが同時に切り換わります。
- 設定は電源を切っても記憶されます。
- お買い上げ時の設定は「DIMMER OFF」です。

表示部の表示濃度(コントラスト)を調節する

1 表示濃度設定表示にする

ディマー/
コントラスト



(長押し)

「CONTRAST SET1」と表示されます。

2 濃度(コントラスト)を調節する



(くり返し押す)

[◀]/[▶]を押すたびに、表示部の濃度(コントラスト)が「CONTRAST SET1」から「CONTRAST SET5」まで5段階に切り換わります。

設定すると「COMPLETE」と表示され、設定を終了します。

- 約3秒後に元の表示に戻ります。
- 設定中に元の表示に戻すには、[ディマー/コントラスト]を押します。
- お買い上げ時の設定は「CONTRAST SET3」です。

表示される情報を変える

再生中に

表示



(くり返し押す)

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダ名を表示できます(表示できない文字があります。正しく表示されないか、「*」が表示されます)。
- iPod ではタグ情報は表示されません。

CD の場合

T01 0:46 :再生中の曲の経過時間

REMAIN :再生中の曲の残り時間

TOTAL :CD 全体の経過時間

TOTAL REMAIN :CD 全体の残り時間

MP3/WMA ファイルの場合

T001 0:46 :再生中の曲の経過時間

FILE.. FOLDER.. :ファイル名/
フォルダ名

TAG information :タグ情報

F001 T0003 :フォルダ番号/
ファイル番号

その他

再生できる iPod

Made for (対応 iPod)	バージョン*
iPod nano (第 7 世代)	1.0.2
iPod nano (第 6 世代)	1.2
iPod nano (第 5 世代)	1.0.2
iPod nano (第 4 世代)	1.0.4
iPod nano (第 3 世代)	1.1.3
iPod nano (第 2 世代)	1.1.3
iPod touch (第 5 世代)	7.0.2
iPod touch (第 4 世代)	6.1.3
iPod touch (第 3 世代)	5.1.1
iPod touch (第 2 世代)	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPhone 5S	7.0.2
iPhone 5C	7.0.2
iPhone 5	7.0.2
iPhone 4S	7.0.2
iPhone 4	7.0.2
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	5.1.1

*動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod/iPhone が正しく再生されないときは、iPod/iPhone をリセットしてみてください。(リセット方法は、アップル社のウェブサイトをご覧ください。)
- iPod/iPhone について詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<<http://www.apple.com/jp/>>
- iPod/iPhone の最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。

再生できる CD とファイル

- CD 規格(CD-DA)に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 
ファイル	• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW • CD-R/CD-RW または USB 機器の MP3/WMA ファイル

USB 機器のご注意

- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 接続する USB 機器は最大消費電流 1A 以下のものにしてください。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の AUDIO IN 端子に接続して再生してください。(28 ページ)
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器を接続すると、本機から USB 機器に電源供給および充電されます。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)
- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

MP3/WMA ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA ファイルは<.mp3> または <.wma>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成された MP3/WMA ファイルを再生できます。
 - サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz
 - 転送レート: 32 kbps ~ 320 kbps
- 本機は USB 機器 1 台あたり最大 255 のグループおよび 3,000 の曲を認識します。
- DRM ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- MP3/WMA ファイルの再生順について
(MP3/WMA ファイルを含まないフォルダは無視されます。)
 - 再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、作成した曲順で再生します。
 - パソコンを使ってフォルダ名(グループ名)やファイル名(曲名)を変えた場合は、順番が変わることがあります。
- 本機で表示できる最大文字数は以下のとおりです。
 - フォルダ名: 16 文字
 - ファイル名: 64 文字(拡張子含む)
 - タグ表示(タイトル/アーティスト/アルバム): MP3 ID3 タグ/WMA コンテンツプロパティ: 64 文字(ID3 v1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/2.4 対応)
- 表示できない文字があります。正しく表示されないか、または「*」が表示されます。

お手入れについて

CDの取り扱いとお手入れ

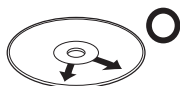
ケースから出すとき



ケースに入れるとき



- CDにテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc.の商標です。

困ったときは

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www2.jvckenwood.com/>

や以下の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。ご自分で解決できます。カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。



(QR コードは
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です)

- ・ PC サイトです。
- ・ サイトの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、1度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してください。

共通

電源が入らない。

- ➔ AC アダプターを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

- ➔ オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(15 ページ)

ボタンを押しても動作しない

- ➔ 本機のリセットをお試しく下さい(39 ページ)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➔ 操作には時間制限があるものがあります。もう1度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていますか。
- ➔ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声聞こえない。

- ➔ 音量が最小になっていませんか。
- ➔ 消音を解除してください。
- ➔ ヘッドホンをはずしてください。

ディスプレイに「---」が点滅している

- ➔ 時計を設定してください。(14 ページ)

デジタル入力端子(DIGITAL IN)から音が出ない

- ➔ 機器を正しく接続してください。
- ➔ 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか、確認してください。

iPod

iPod を再生できない/認識できない。

- ➔ USB ケーブルを正しく接続してください。
- ➔ お使いの iPod が本機で再生できるか確認してください。(34 ページ)
- ➔ iPod の電池が消耗していませんか。iPod の電池を充電してください。
- ➔ iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。(iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください。)

USB 機器/CD

CD が取り出せない

- ➔ 「EJECT」と表示されるまで[▲]を押してください。
- ➔ レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼りついて取出しができなくなることがあります。

再生できない。

- ➔ USB 機器を正しく接続してください。
- ➔ USB オーディオプレーヤーの電源を入れてください。
- ➔ 他の USB フラッシュメモリーに交換してみてください。
- ➔ CD はラベル面を手前に入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。
- ➔ オーディオファイルが壊れている場合は再生できません。
- ➔ 本機で再生できるオーディオファイルか確認してください。
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(28 ページ)

MP3/WMA のグループやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB 機器や CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3/WMA ファイルを再生してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB 機器を接続し直してください。

タグ情報が正しく表示されない

- ➔ 本機で表示できるタグ情報を確認してください。(33 ページ)

ラジオ

放送が聞こえない。

- ➔ アンテナを正しく接続してください。(11 ページ)
- ➔ AM の場合、AM ループアンテナをなるべく窓際に置き、アンテナを受信状態のよい方向へ向けてください。
- ➔ FM 簡易型アンテナを使用している場合、受信状態の良い位置にピンと張って固定してください。
- ➔ 受信したい放送局の周波数に合わせてください。

雑音が多く放送が聞きづらい。

- ➔ アンテナを調節してください。
- ➔ 本機の電源を切り、入れ直してください。
- ➔ テレビから離れてみてください。

BLUETOOTH 機器

ペアリングできない。

- ➔ はじめに本機をペアリング待機状態にしてから、スマートフォンなど相手機器側からペアリング操作をしてください。(23 ページ)

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけたり、場所を変えて試してみてください。

タイマー

スリープタイマーが設定できない。

- ➔ デイリータイマーが働いていませんか。デイリータイマー中は、スリープタイマーは働きません。

デイリータイマーが作動しない。

- ➔ 時計を合わせてありますか。電源コードをコンセントから抜くと、時計の設定が解除され、デイリータイマーが作動しません。
- ➔ 電源が入っていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

本機をリセットする

本機を操作できない、表示部が誤表示されるなどの場合には、次の手順で本機をリセットしてください。リセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

1 電源を切る

リモコン



本体



2 本機をリセットする

本体



「FACTORY RESET」と表示されるまで、本体の [▼] と [■] を同時に押し続けます。

リモコンではリセットできません。

3 「RESET FINISHED」と表示されたら、電源プラグをコンセントから抜く

本機がリセットされました。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

主な仕様

本体(AP-300-B/AP-300-H/AP-300-S)

アンプ部

実用最大出力: 20 W + 20 W (JEITA* 8Ω)

CD プレーヤー部

対応ファイル形式: 音楽 CD、MP3、WMA

チューナー部


受信周波数: FM: 76.0 MHz - 90.0 MHz

AM: 531 kHz - 1 602 kHz

アンテナ: FM: 75 Ω 不平衡型

AM: ループアンテナ

入出力端子

USB: 出力: DC 5 V  1 A
仕様: USB2.0 フルスピード規格対応
対応機器: USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム: FAT16、FAT32
対応ファイル形式: MP3、WMA

DIGITAL IN: OPTICAL x 1

AUDIO IN: ステレオミニ(ø 3.5 mm) x 1

LEVEL 1: 1 V/30 kΩ

LEVEL 2: 500 mV/30 kΩ

LEVEL 3: 250 mV/30 kΩ

PHONES: ステレオミニ(ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 3.0


送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

共通部

付属 AC アダプター (AA-R1809):	入力: AC 100 V - 240 V ~、50 Hz/60 Hz、1.5 A - 0.5 A 出力: DC 18 V  3.35 A
消費電力:	18 W (動作時) 1.00 W 以下 (電源待機時)
最大外形寸法:	幅 360 mm × 高さ 199 mm × 奥行き 225 mm
質量:	2.9 kg

スピーカー部

システム:	フルレンジ バスレフ型
スピーカーユニット:	7.5 cm コーン型
インピーダンス:	8 Ω
最大入力:	20 W (JEITA*)

*は JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。
本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

1. 保証について

- ・保証期間—お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- ・お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- ・録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- ・保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

- ・保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ・出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- ・修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- ・修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- ・ This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の変更及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池、イヤーチップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ・ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、サービス窓口へお問い合わせください。
- ・ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	コンパクトハイファイ コンポーネント システム	型名	AP-300-B/AP-300-H/ AP-300-S
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話番号	()	
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号	()	

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12